

婦人会役員懇親会・下期門徒会費収納会 等ご報告、御正忌報恩講 ご案内

改めて、地域に温泉があることの有り難さが身に染みんでいます。自宅の湯船では味わえない、芯まで温もるあたたかさ乾燥の季節を忘れさせる保湿効果に、うっかり「あ～極楽……」と不躰なため息が漏れてしまいます。しかし、油断は禁物です。夏以降、形を潜めつつあるかに見えたコロナは再燃、マスクが手放せない日々は続きます。

ところで今期は婦人会役員の改選の年でした。本来であれば、婦人会長の龍さん、副会長兼会計の栗原さん、荒木さんをはじめ、任期を勤め上げてくださった皆さまに感謝し、新たな役員会を発足すべきところ、前住職の往生に伴い慌しくなったお寺を氣遣って「もう1年」とお声がけくださったことに甘え、続投をお願いしております。改めて御礼申し上げます。そんな婦人会役員のみなさまと10月初旬にランチ懇親会をご一緒させていただきました。婦人会費や音楽祭についての打ち合わせもありつつ「お顔は拝見したことがあるけれど、言葉を交わすのは初めて」という方々もあり、楽しい交流の場となりました。

一方役員会では、下期門徒会費の収納会と併せて今後の法要の実施可否について等、検討の場を設けさせていただきました。ご助力くださった講中・世話役のみなさま始め、ご協力くださった門徒会のみなさま、誠に有難うございました。1月の御正忌報恩講についても確認し、お寺での法要は中止、念仏相続に向けて「親鸞聖人御絵伝 あなたに届く絵ものがたり」という冊子をお配りし、お取越し（在家報恩講）でのお勤めとさせていただくことになりました（通常の月忌参りはお休みです。ご要望がございましたら個別にご連絡くださいませ）。同時に1/9（土）～17（日）の間、毎年内陣に飾る御絵伝の御軸を近くでご覧いただけるよう準備しようと考えております。お時間を見つけて、個別に本堂にお参りくださればと思います。

その他、昨年末に10基新た追加したお寺の納骨壇ですが、早くも空きが残り3基になっています。よってご門徒のみなさまの納骨堂に関するお考えをお聞きしたく、アンケートを実施させていただくことになりました。お忙しいところ大変お手数をお掛けいたします。ご協力くださいますと幸いです。

寒さが一層厳しくなります。前住職の往生のこともあり、インフルエンザや肺炎の流行が気にかかります。くれぐれもご自愛ください。最後になりましたが、みなさまが蜜柑やキウイ、その他美しい秋の味覚の数々をお供えくださっております。尊いことと、慎んでお念仏申し上げます。

合掌



婦人会役員ランチ懇親会



下期門徒会費収納会の様子



美しい実りの秋



お供えのお裾分け

12～1月の予定（新型コロナウイルスの影響を鑑みて以下の通りと致します）

- 【中止】 12月 5日（土） 13時半～ 元中通り組蠟燭講 ご消息披露法要 @光徳寺
- 【決行】 12月 6日（日） 8時半～ 除草作業 @明行寺（山川中尾・飯野・飯江のみなさまです）
- 【決行】 12月31日（金） 23時半～ 除夜会 @明行寺（汁物・お酒の振舞いは行いません）
- 【決行】 1月 1日（木） 10時～ 元旦会 @明行寺（おせちの振舞いは行いません）
- 【中止】 1月15（金）・16日（土） 10時～ 御正忌報恩講 @明行寺（お取越、在家報恩講として実施します）

※ 除夜会・元旦会には、マスク着用・暖かい服装の上、万全の体調の方のみご参加ください。

裏へ続く ↓

< 行事レポート 「うたう明行寺 秋の音楽祭」 >

婦人会のみなさまにお願いした「お寺で参加してみたい活動」アンケートで堂々の第4位に輝いた音楽会。この度、婦人会主催『開基400年記念 うたう明行寺 秋の音楽祭』として11/13（金）お昼過ぎから実施致しました。本堂に澄んだ音色を響かせてくれたハンドベルチームのベルハーモニーリンリンさん。ご参加くださったお客様を交えての体験演奏もあり、大いに盛り上がりました。次に、婦人会のお母さんの存在としていつもお力添えくださる栞原時代さんのピアノ演奏。78歳から始められたとは到底思えない、力強く温い旋律は忘れ難いものとなりました。お茶の時間には小川大心さん（熊本県 浄土宗来迎院）からフェアトレードについてのお話をお聞きし、お芋のタルト（南関町カフェスリー）とチョコとコーヒーでカフェタイム。ご門徒さんがお供えくださった美味しい蜜柑もいただきました。その後は、若坊守のピアノ弾き語り、佐野唯信さん（博多 専宗寺）・亀原渉海さん（荒尾 西養寺）・当山住職による雅楽演奏チーム頓珍管（トンチンカン）の出演、短いご法話へと続き、会はお開きとなりました。総勢40名ほどのみなさまと過ごした貴重なひと時。お寺での新たな体験となりました。



リンリンさんのハンドベル



栞原時代さんのピアノ演奏



コーヒーでカフェタイム



小川大心さんのお話



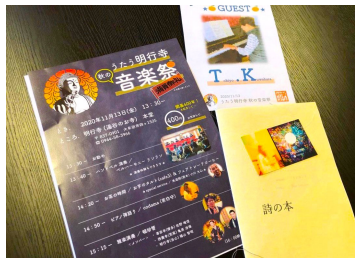
Cafe3さんのお芋のタルト



弾き語りをする若坊守



頓珍管による雅楽演奏



お配りした冊子など

== コラム 「雅楽は仏教と関係があるのですか？」 ==

雅楽は、仏教とともに中国・朝鮮半島を経て日本に伝わってきたものです。日本に伝来する以前から、仏教の儀礼の場に雅楽は欠かせないものでした。つまり、もともと雅楽は仏教と密接な関係にあったのです。

雅楽は、五音七声で表される十二の和音階で奏されます。五音の中の宮（きゅう）と商（しょう）の音律は相性が悪く、不協和音となります。この不協和音は、まるで私たちの姿を表しているかのようです。私たちは自分が正しいと思い、日々生活を送っています。正しいと思う者同士では、争いが絶えないものです。このような私たちを悲しみあわれみ、宮と商が自然に調和する世界である浄土を建てられたのが、阿弥陀如来です。雅楽は、阿弥陀如来の浄土を表しているのです。

親鸞聖人は、このお心を次のご和讃でお示しです。

清風宝樹（しょうふうほうじゅ）をふくときは いくつかの音声（おんじょう）いだしつ
宮商和して自然（じねん）なり 清浄薫（しょうじょうくん）を礼すべし （『浄土和讃』）

法要で演奏される雅楽からも阿弥陀如来のおこころを感じ取られてはいかがでしょうか。どうぞお参りください。

前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。武蔵野大学仏教文化研究所研究員、通信教育部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことばーやさしい法話ー』（本願寺出版社）がある。明行寺若院が神奈川県上正寺に勤めていた際、勉強会等でお世話になった恩師。

明行寺 ホームページアドレス

「<https://www.myogyoji1620.com>」

QRコード



YouTube



Instagram